

寺田総務相を更迭



岸田文雄首相に辞表を提出し、記者の質問に答える寺田稔総務相=20日午後7時51分、首相公邸、竹花徹朗撮影

政治資金問題相次ぎ

閣僚辞任3人目 後任松本元外相

岸田文雄首相は20日、政治資金などの問題が相次いで明らかになつた寺田稔総務相を事実上、更迭した。21日から始まる今年度第2次補正予算案の国会審議前に更迭に踏み切った。首相は記者団と対話し、「深くおわびを申しあげる。任命責任を重く受け止めていた」と語った。▼2面=辞任声明、3面=問われた賃質、7面=社説、29面=がかり統計

首相は後任に松本剛明元外相を充てることを決めた。21日前に発表する。

首相は10月24日、世界平和統一家庭連合（旧統一教会）との闘争が相次いで表面化していた山縣大志郎・前経済再生相を、今月11日には死刑執行を命じる法律の執行を輸入する意向を閣僚常勤部に伝えた。その後、首相公邸で寺田氏と会談。寺田氏が提出した辞表を受理した。首相は会談後、記者団の取材に対し、「重要課題に答えを一つひとつ出すべく努力をする。このことを優先すべき立場を取っておる」と語った。1カ月足らずで3人の閣僚が相次いで辞任に追い込まれており、首相の任命

責任が厳しく問われるなども、政権運営の混乱を深めている。

首相は20日、寺田氏を更迭する意向を閣僚常勤部に伝えた。その後、首相公邸で寺田氏と会談。寺田氏が提出した辞表を受理した。

た」と説明した。寺田氏は記者団に「私の政治資金をめぐる問題が（国会審議は（同じ）歳のなつてしまひけたこと）ことで辞表を提出せただき、整理していただきたい」と述べた。

寺田氏の政治資金問題は10月上旬、週刊文春の報道で明らかにされた。自らが代表を務める政党支部などが事務所を匿すビルの資料を10年間隠していたこととが批判を浴び、政治資金の貸し付けや会計責任者などの記載の不備も相次いで表面化した。昨年の衆院選をもぐら

として、補正予算案の国会審議の障害を取り除き、早期成立をめざす。旧統一教会問題を受けた被害者救済新法も、来月10日に迫る臨時国会の会期未満で成立されたいと考えた。首相は、野党の辞任要求が強まる寺田氏を更迭することを強く求めている。首相は、野党の辞任要求が強まる寺田氏を更迭することを強く求めている。

ポスター貼付に対する労務者報酬の支払いが、公職選舉法違反（運動費収取）に当たるのではないかとの疑いも浮上。野党は、総務相は

にふきわしへないと

から「総務相は所管する」とから「総務相にふきわしへないと」から「総務相にふきわしへないと」と辞任を始めた。首相は、野党の辞任要求が強まる寺田氏を更迭することを強く求めている。